

百年の信頼を未来につなげる

2014年3月期決算説明会

株式会社鳥羽洋行

2014年5月29日

証券コード: 7472

- 1. 会社概要**
- 2. 2014年3月期決算概況**
- 3. 2015年3月期業績予想**
- 4. 中長期的な経営目標と今期の重点施策**

1. 会社概要

当社の概要

産業界のパイオニア商社

- 企業のFA化をサポートし、日本の“ものづくり”の進化を担う。
- 生産設備の省力化・合理化ニーズに対し、より有効な技術革新を提案・提供。

社名	株式会社 鳥羽洋行 (TOBA, INC.)
本社所在地	東京都文京区水道2丁目8番6号
創業	1906年(明治39年)9月15日
設立	1949年(昭和24年)12月14日
代表者	代表取締役社長 三浦直行
資本金	11億4,800万円
売上高	163億円(2014年3月期)
従業員数	191名(2014年3月末)
上場市場	東京証券取引所JASDAQスタンダード
証券コード	7472

百年の信頼を未来につなげる

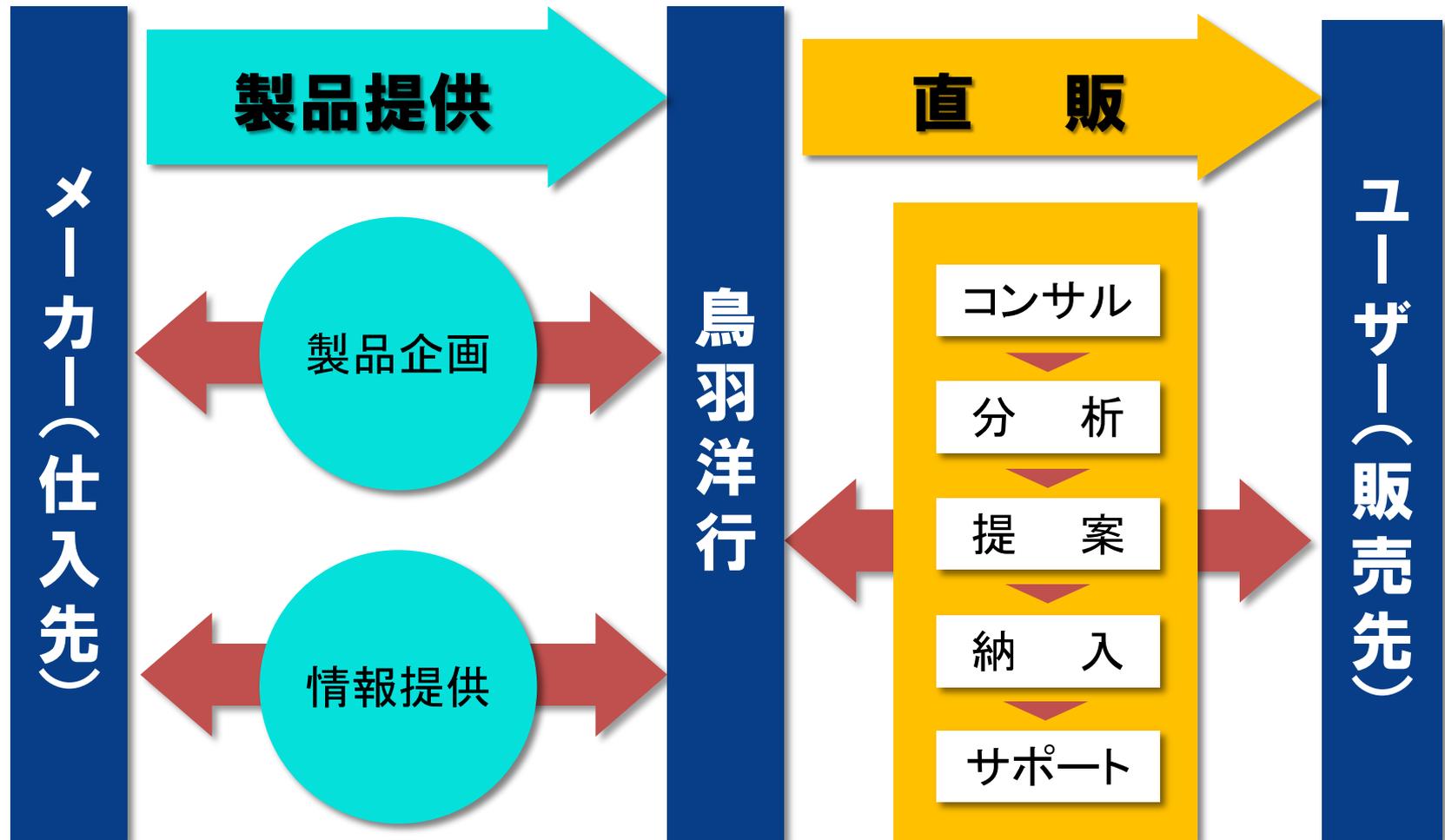
社 是

- 1 ▶ 当社は社会人類に貢献するためにある
- 2 ▶ 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
- 3 ▶ 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する
- 4 ▶ 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
- 5 ▶ 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく

信用第一主義を貫く

当社のビジネスモデル

独自の直販体制で顧客の「稼げるものづくり」をフルサポート



当社の強み

独自の直販体制

- 優れたユーザー情報収集力
- 短い受注納品リードタイム

卓越した専門スキル

- 専門商社としての長い歴史
- 知識・経験豊富な従業員

強固な顧客基盤

- 我が国の代表企業と取引
- 幅広い顧客業種でリスク分散

健全な財務体質

- 高い自己資本比率
- 低い在庫水準



2. 2014年3月期決算概況

決算概要

▲10.0%

売上高は、半導体関連及びデジタル家電向け不振で前年比10.0%減収

▲31.3%

営業利益は、粗利益減をコスト削減でカバーできず、前年比31.3%減益

▲26.6%

当期純利益は、営業利益の減益が響き前年比26.6%減益

前期の収益環境総括

	前期の収益環境
制御機器	<ul style="list-style-type: none">●デジタル機器関連得意先の空圧機器等の需要は堅調。●一方、期後半から回復を見込んでいた半導体及び半導体製装置に関連する得意先の需要は低迷継続。●制御機器全体の売上高は前年をやや下回る。
FA機器	<ul style="list-style-type: none">●自動車・車載部品関連得意先の直動システムや洗浄装置等の需要は好調。●スマートフォン関連得意先の産業用ロボット、ファイバーレーザー溶接機、レーザーはんだ付けロボット等の需要は大幅に減少。●FA機器全体の売上高は前年を大幅に下回る。
産業機器	<ul style="list-style-type: none">●半導体関連得意先のアルミフレーム需要と包装機械関連得意先の搬送システム需要は好調持続。●前年から取り扱いを開始したろ過フィルターの売上が本格的に寄与。●期後半は消費税率引き上げ前の駆け込み需要で電動ドライバー需要が好調。●産業機器全体の売上高は前年を大幅に上回る。

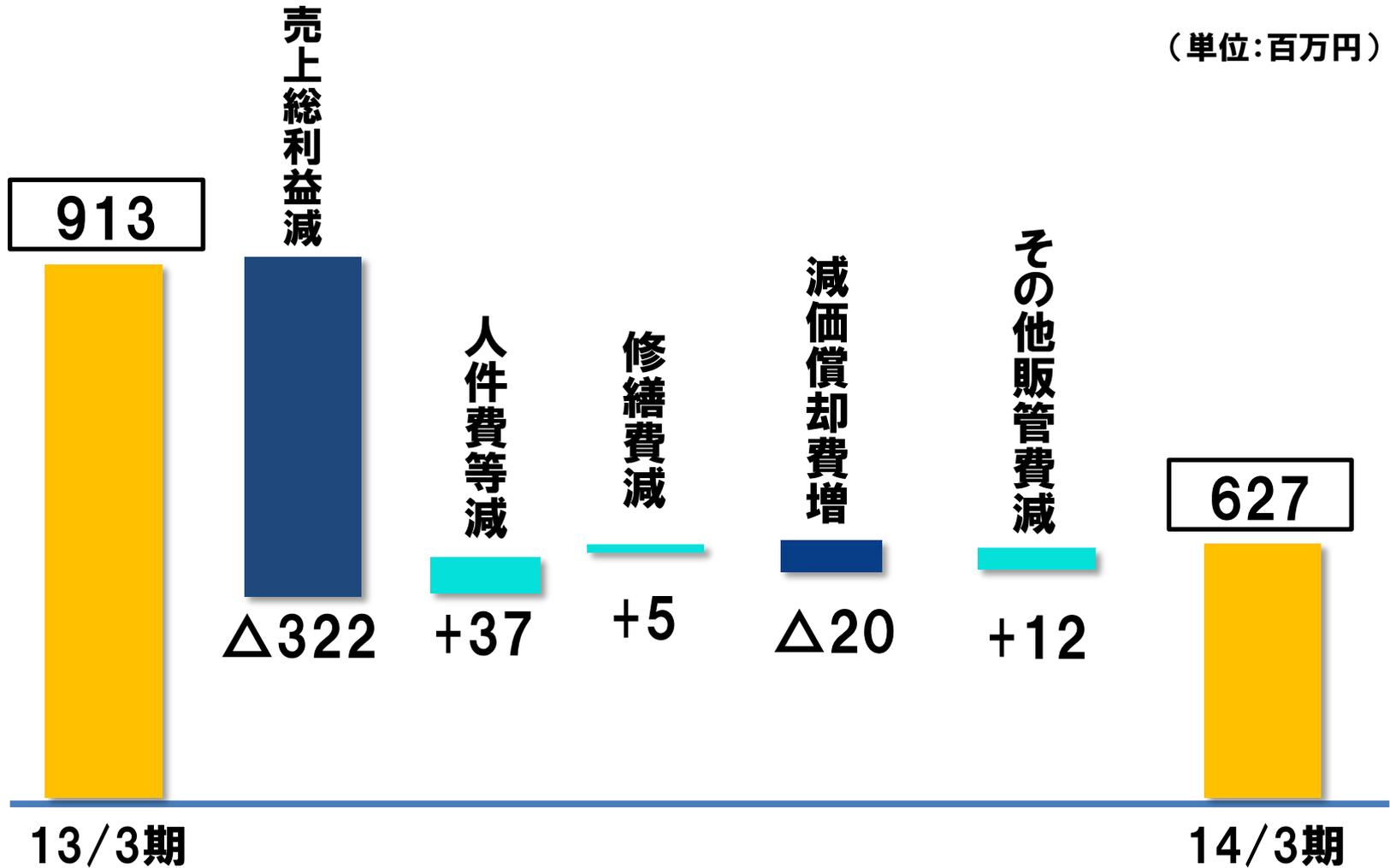
損益概要

(単位:百万円)

	13/3期 実績	14/3期		3Q時予想	3Q時予想比 (増減額)	
		実績	前年比		(増減額)	(増減率)
売上高	18,151	16,333	△10.0%	16,000	+333	+2.1%
営業利益	913	627	△31.3%	550	+77	+14.1%
(営業利益率)	(5.0%)	(3.8%)	(△1.2p)	(3.4%)	(+0.4p)	
経常利益	1,004	717	△28.5%	640	+77	+12.2%
(経常利益率)	(5.5%)	(4.4%)	(△1.1p)	(4.0%)	(+0.4p)	
当期純利益	585	429	△26.6%	400	+29	+7.3%

営業利益増減分析

(単位:百万円)



四半期売上高・営業利益推移

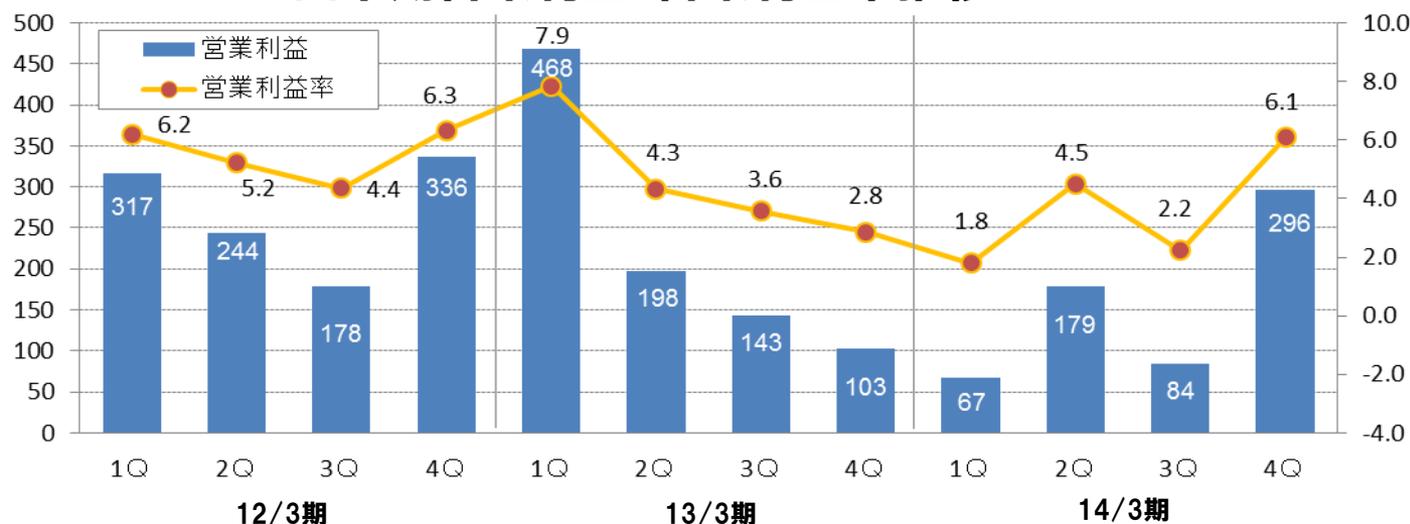
(単位:百万円)

四半期売上高推移



(単位:百万円)

四半期営業利益・営業利益率推移

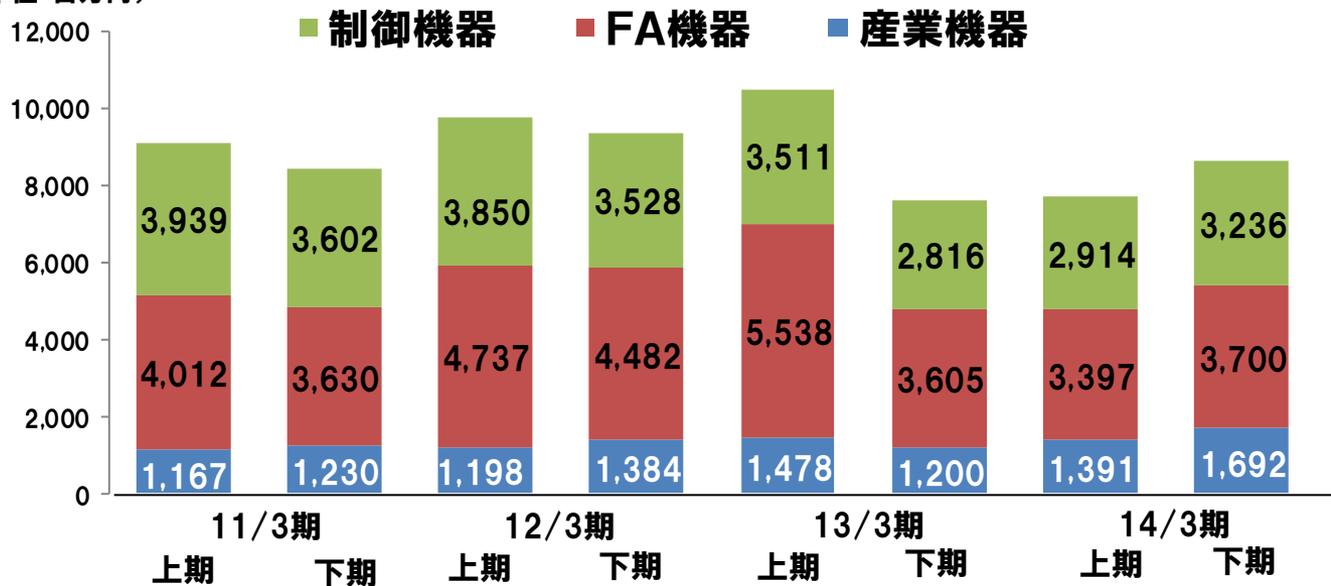


取扱商品別売上高推移

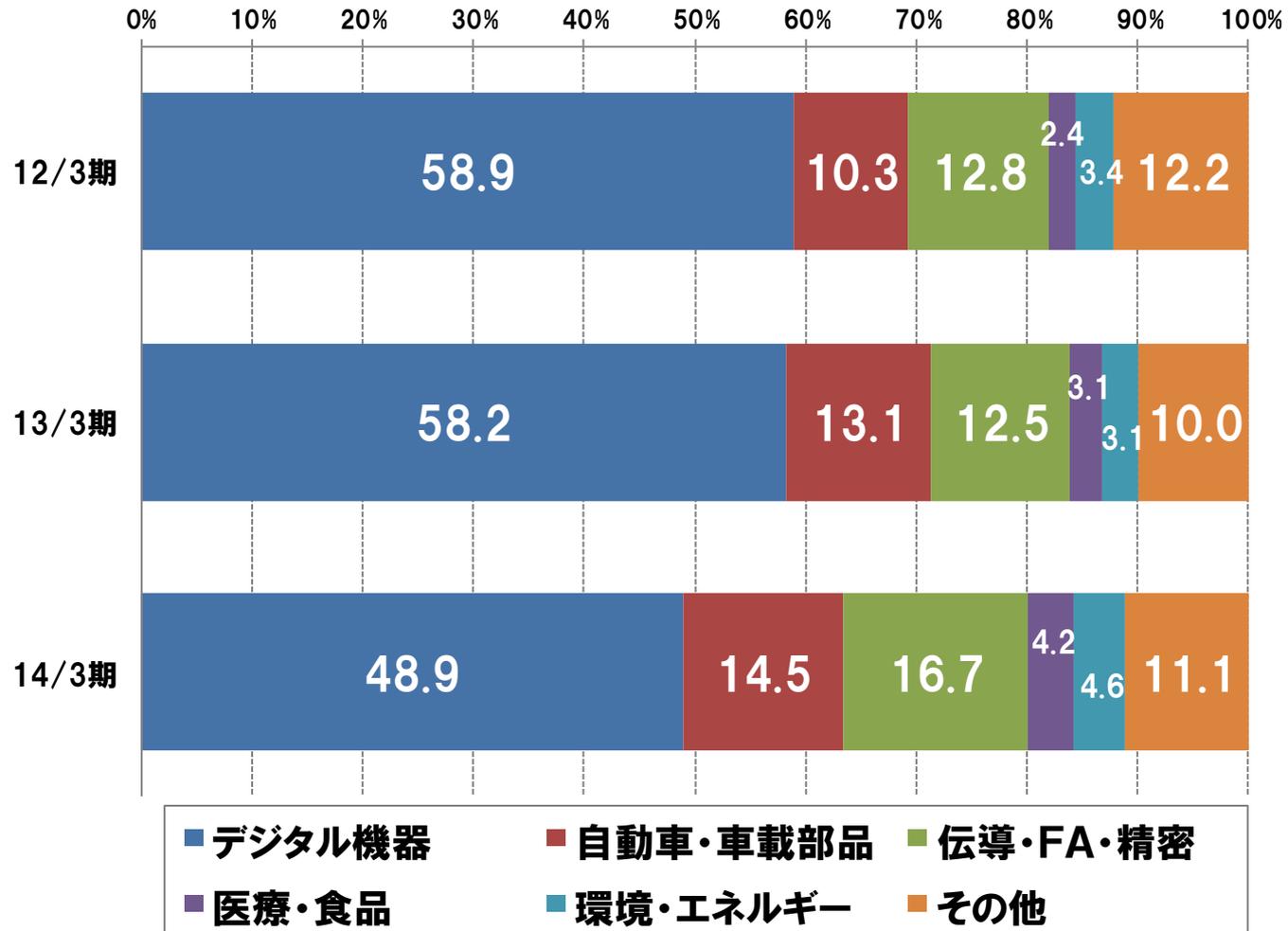
(単位:百万円)

	13/3期	構成比	14/3期	構成比	前年同期比	
					(増減額)	(増減率)
制御機器	6,328	34.9%	6,151	37.7%	△177	△2.8%
FA機器	9,144	50.4%	7,079	43.4%	△2,046	△22.4%
産業機器	2,678	14.7%	3,084	18.9%	+406	+15.2%
全社計	18,151	100.0%	16,333	100.0%	△1,817	△10.0%

(単位:百万円)



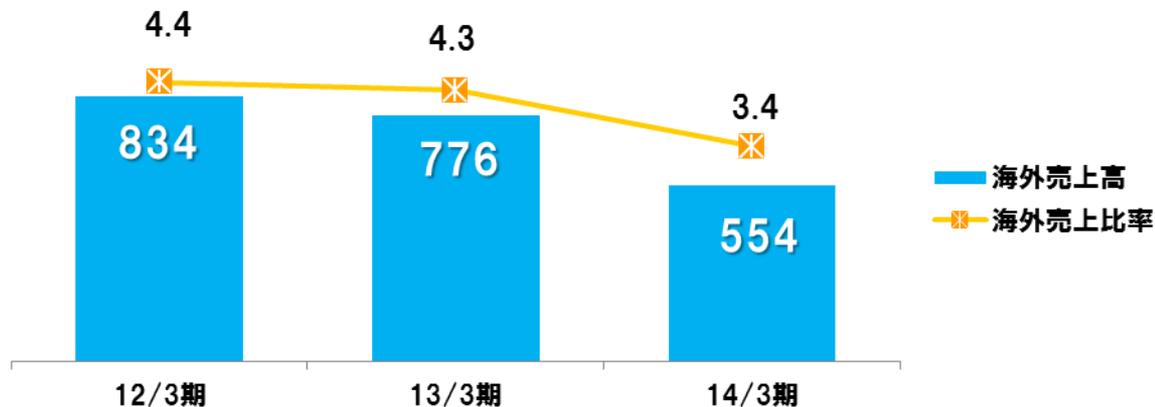
販売先業種別売上構成比



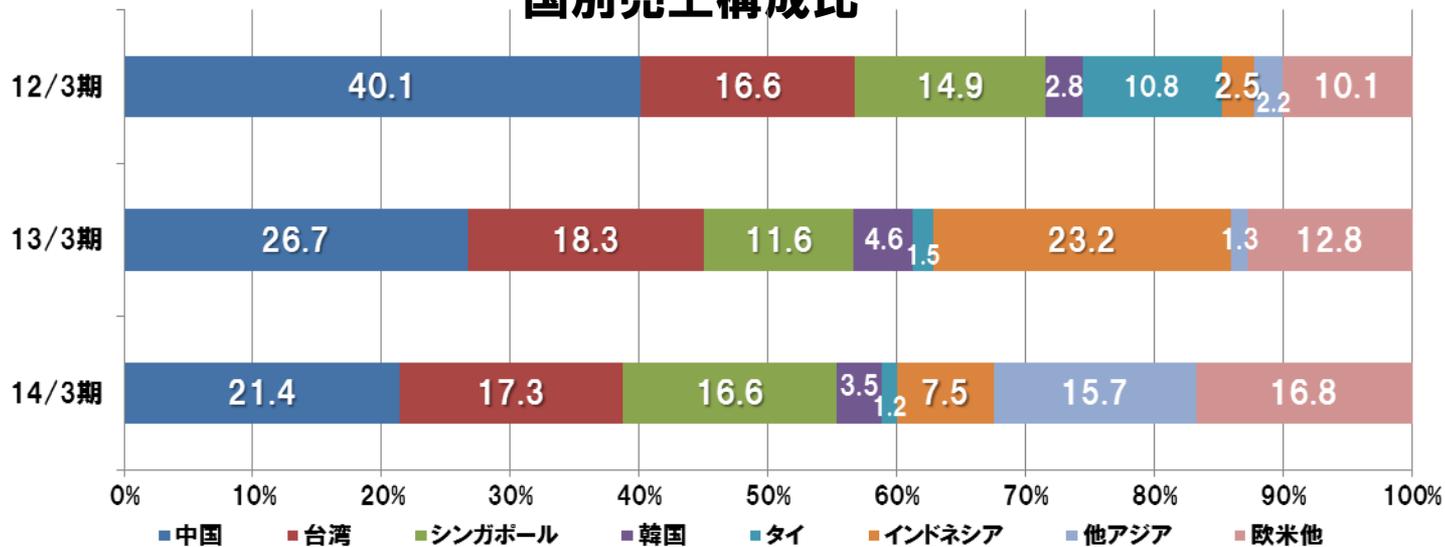
海外売上高推移

海外売上高・海外売上比率

(単位:百万円・%)



国別売上構成比



(注)中国は香港を含む

貸借対照表

(単位:百万円)

	13/3期末	構成比	14/3期末	構成比	増減額
流動資産	13,955	75.3%	14,264	74.5%	+308
現金・預金	7,854	42.4%	7,365	38.4%	△488
受取手形・売掛金※	5,958	32.2%	6,755	35.3%	+796
商品	38	0.2%	62	0.3%	+23
固定資産	4,575	24.7%	4,894	25.5%	+318
資産合計	18,531	100.0%	19,159	100.0%	+627
流動負債	4,644	25.1%	4,964	25.9%	+320
支払手形・買掛金	4,266	23.0%	4,583	23.9%	+316
固定負債	189	1.0%	225	1.2%	+36
(有利子負債)	-	-	-	-	-
負債合計	4,833	26.1%	5,190	27.1%	+356
純資産合計	13,697	73.9%	13,968	72.9%	+270
負債純資産合計	18,531	100.0%	19,159	100.0%	+627

(※)電子記録債権を含む

キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	13/3期	14/3期	増減額
営業キャッシュフロー	1,897	9	△1,888
投資キャッシュフロー	△67	△60	+6
財務キャッシュフロー	△237	△237	0
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-	-
現金及び現金同等物の増減額	1,593	△288	△1,882

現金及び現金同等物の期末残高	7,154	6,865	△288
----------------	-------	-------	------

3. 2015年3月期業績予想

得意先の設備投資動向

<足元の状況>

販売先業種	設備投資状況
デジタル機器	<ul style="list-style-type: none">・エコポイント制度終了後、家電関係の設備投資は低調に推移。・一眼レフカメラ、大型液晶TVの販売も減少して設備投資は低調。・スマホ及びタブレット端末は普及期に入り、ほぼ堅調維持。・半導体関連の設備投資も急回復は期待できない。
自動車・車載部品	<ul style="list-style-type: none">・HV向けに車載部品(例:カーエアコン)需要は旺盛。・国内は、消費税率引き上げ後は需要低迷し、設備投資増加は緩慢。・輸出が好調で、海外生産向けの案件は期待できる。
伝導・FA・精密	<ul style="list-style-type: none">・デジタル一眼レフカメラなどの需要回復遅い。・海外におけるプリンター関連の設備投資は旺盛。
医療・食品	<ul style="list-style-type: none">・引き続き需要堅調。
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none">・震災復興需要及び経済対策効果などで堅調。

<当面の営業展開>

- 世界的にHV車や安全システムの需要が拡大する自動車・車載部品関連の得意先開拓
 - 国内は、住宅・生活に関連した製造業における設備投資の開拓に注力。
- *当面はものづくり補助金受給の中・小企業の設備投資関連にも注力。

今期の市場環境見通し

- デジタル機器、半導体の需要は横這いを見込む
- 自動車・車載部品は、輸出中心に堅調を見込む
- 医療及び環境・エネルギーは堅調を見込む

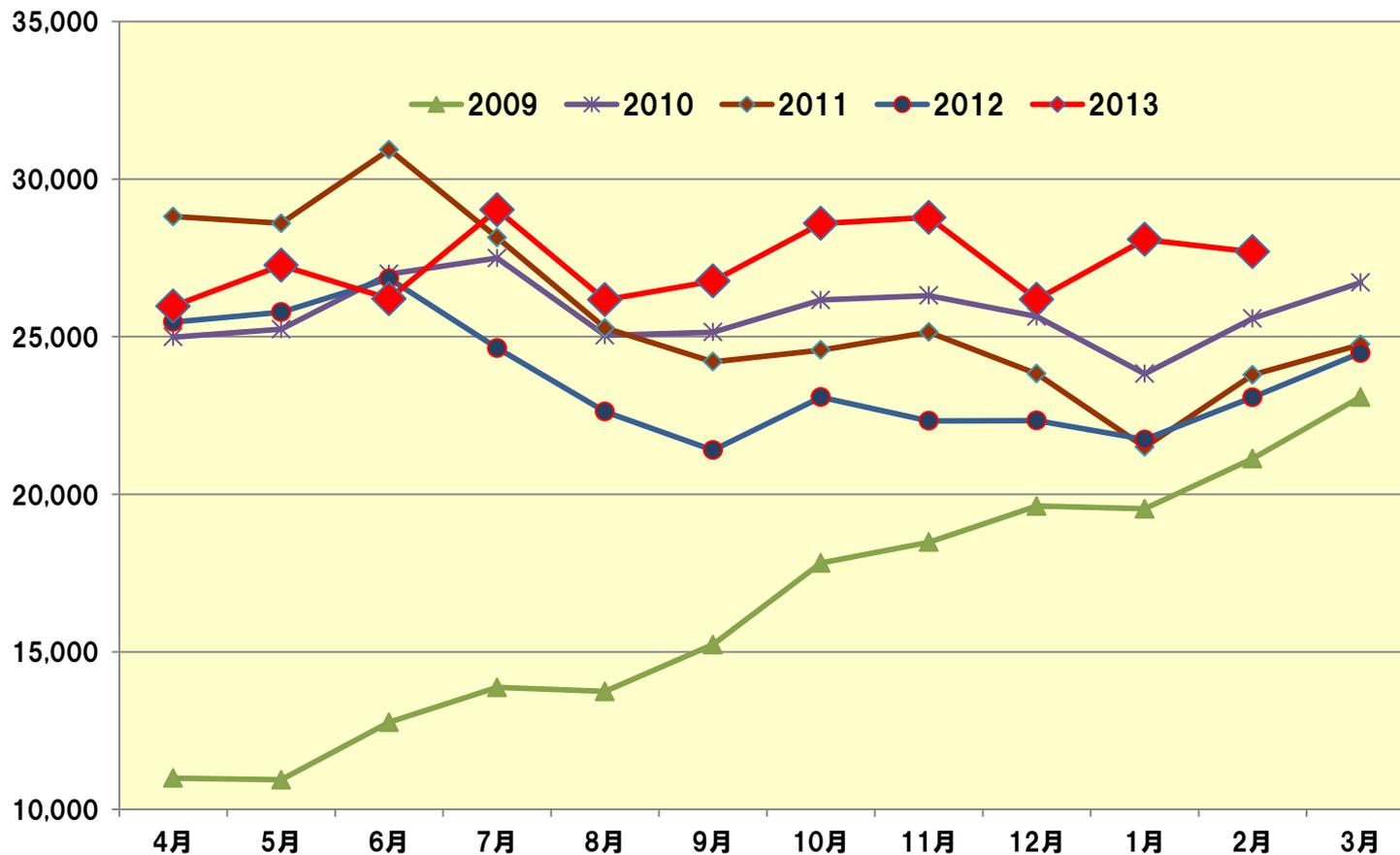
販売先業種	設備投資動向		見通しコメント
	上期	下期	
デジタル機器	→	→	スマホ・タブレット端末は、普及期に入り、ほぼ堅調維持。半導体関連の設備投資は徐々に復活。
自動車・車載部品	→	↗	HV車向けや衝突防止装置などの車載部品需要は旺盛。輸出が中心。
伝導・FA・精密	→	→	デジタル一眼レフカメラは回復遅い。海外におけるプリンター関連の設備投資は旺盛。
医療・食品	→	→	堅調継続。
環境・エネルギー	→	↗	震災復興需要及び経済対策効果等で堅調。

(参考)空気圧機器市場の見通し

■ 空気圧機器の需要回復は鈍い

(単位:百万円)

空気圧機器月次出荷金額推移(年度)



(出展:日本フルードパワー工業会)

2015年3月期業績予想

(単位:百万円)

	14/3期 実績	15/3期 予想	前年比 (増減率)
売上高	16,333	17,000	+4.1%
営業利益	627	750	+19.5%
(営業利益率)	(3.8%)	(4.4%)	(+0.6p)
経常利益	717	800	+11.4%
(経常利益率)	(4.4%)	(4.7%)	(+0.3p)
当期純利益	429	500	+16.5%

2015年3月期取扱商品別売上高予想

(単位:百万円)

	14/3期		15/3期予想		
	実績	構成比	予想	構成比	前年比
制御機器	6,151	37.7%	6,300	37.1%	+2.4%
F A 機器	7,097	43.4%	7,600	44.7%	+7.1%
産業機器	3,084	18.9%	3,100	18.2%	+0.5%
全社計	16,333	100.0%	17,000	100.0%	+4.1%

	15/3上期		15/3下期	
	予想	構成比	予想	構成比
制御機器	3,100	37.8%	3,200	36.4%
F A 機器	3,700	45.1%	3,900	44.3%
産業機器	1,400	17.1%	1,700	19.3%
全社計	8,200	100.0%	8,800	100.0%

4. 中長期的な経営目標と今期の重点施策

経営目標
ROE10%

目標達成に向けた中長期的な課題

- ① 新たなる成長分野の**販路開拓**
(マーケティング力の強化)
- ② 次世代に貢献する**有望商品**の発掘
(市場ニーズの変化への対応)
- ③ **海外戦略**の強化
(製造業における国内空洞化への対応)

前期重点施策の進捗状況

感動を顧客・仕入先に！

1 有望な大口得意先の新分野の開拓

2 得意先の海外拠点需要取り込み

3 将来の収益源としての新商品の販売強化

4 強い社員の育成(若い社員の教育)

HV車向け
車載部品メーカー等

蘇州分公司開設
(2014.4.8)

フィルターの大型商品化

新たな挑戦

1 新たな成長分野の取り組み

- **車載部品**会社への開拓営業
- **生活関連**業界への提案営業強化

2 高付加価値販売の追求

- 単品から**システム販売**へのシフト強化
- システムインテグレーターとの**連携強化**

株主還元策

■ 株主配当金

- 安定した経営基盤と堅実な財務体質を背景に長期的に安定した配当を目指す。
- 公約配当性向は30%。

	配当金/株	当期純利益/株	配当性向
2014年3月期実績	50.00円	90.39円	55.3%
2015年3月期見込み	50.00円	105.27円	47.5%

本プレゼンテーション中の将来の見通しにつきましては、当社の判断によるものであり、経済情勢、市場動向、税制や諸制度の変更等により、大きく変化するものであります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループIR担当

住所：〒112-0005 東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

FAX番号：03-3944-4091

Eメール：kanri-01@toba.co.jp